

# 再発防止策の進捗状況（2022年11月29日版）

## 進捗状況

### 1.ガバナンスの改革と推進

- 再発防止につながるコンプライアンス意識とガバナンスの浸透を目的とし、過去不祥事「架空外注の金員騙取」をテーマとした事例研究会を実施(1.(1)-b, 1.(4)-b)
- トップメッセージの配信など、頻度・質を強化した従業員へのメッセージ発信を継続的に実施(1.(3)-a)

### 2.リスク管理体制の強化

- リスク情報専門のポータルを通じた、顕在化したリスクの社内共有を継続的に実施(2.(2)-d)
- 内部統制強化協議会との連携は、同協議会を再編し2022年4月に設置したガバナンス・企業文化諮問委員会との間で連携を継続(2.(2)-e)

### 3.業務執行に係る体制及び社内体制の強化

- 業務執行体制強化のための部門間情報共有についても、D1/D1.5/D2合同での各種定期ミーティングを継続して実施(3.(1)-a, 3.(2)-a)

### 4.監査体制の抜本的な見直し

- 引き続き、組織別内部監査を実施中(4.(1)-b)
- 2023年3月期J-SOX内部統制評価計画に従い、整備評価を実施中(4.(3)-a)
- 社外取締役(常勤監査等委員)と社内取締役の意見交換会を定期的実施(4.(4)-a)
- J-SOXの理解促進のための研修内容を策定(4.(3)-d)

### 5.従業員の声を集める仕組み

- グループ会社共通の窓口で、匿名でも双方向のコミュニケーションを可能とする「内部通報プラットフォーム」を導入し、その目的・必要性について周知および教育を実施(5.(1)-a)
- 第三者を窓口とする目安箱について、投稿された声を踏まえた改善活動を推進中(5.(2)-a)

### 6.組織文化の改革・形成

- ビジョンブックの活用に向けた補完ツールの作成、RCTの実施に着手、またビジョンウィーク期間中のコンテンツについて検討を開始(1.(3)-a, 6.(2)-b/c/d)
- 社内イントラネットへ新理念体系を踏まえた行動宣言を記載し、上司と個別面談(One On One)を開始(6.(2)-e)

### 7.会計リテラシー教育及び過去不祥事からの学び、啓蒙

- 2022年度上期に実施した会計リテラシー向上・会計知識教育STEP2の浸透度測定結果を経営委員会に報告(7.(1)-a)
- 失敗事例からの学びに関する業務ルール説明会やワークショップ、失敗事例の共有を実施(7.(3)-a)

### 8.モニタリング体制の継続

- 「ガバナンス・企業文化諮問委員会」によるモニタリング対象の取組みの一環として、社員の意見のヒアリングを踏まえた、再発防止策の実効性強化につながる業務改善提案を実施(8.(1)-a)

※ 進捗状況の末尾に記載されている番号は、2021年5月13日付「再発防止策の追加について」で開示した各再発防止策番号となっております

※ RCT (Respect, Communication, Teamwork) : 経営陣と少人数の従業員が語り合うイベント